

第19回夏期  
社会大学講座  
7月24日～26日  
毎日午前9時30分  
～正午  
講教小講堂  
前売券(一般40円、  
学生30円)を市教委  
事務局で発売中

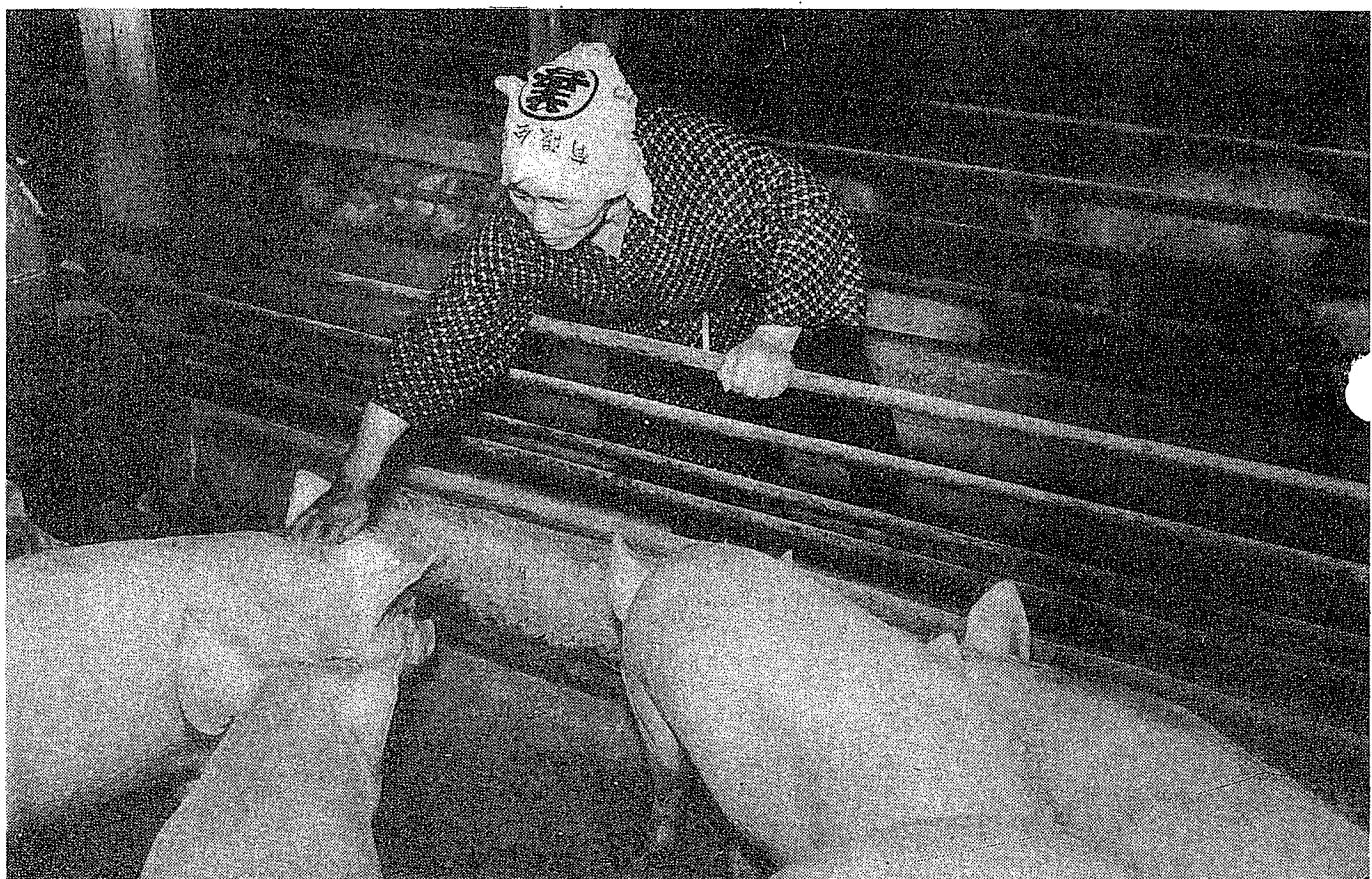
会津若松

173号

昭和39年7月1日発行  
発行所 会津若松市  
発行人 桜木 幸次  
編集 広報係  
定価 5円

# 市政たどり

昭和26年7月6日第三種郵便物認可



## 明日に期待する No.11

農業経営の合理化をめざす最近の本市の農村では、稻作による一年に一度の現金収入からある程度定期的に現金が入る事業が必死に考えられ実行に移されている。

ある人は養鶏をまたある人は温室栽培をというように所得増加に真剣にとりくんでいる。

町北町の鈴木さんは昨年から養豚をはじめた。明るい清潔な豚舎には現在百頭ほど飼育されている。

生後四十日位の子豚を買い入れて五ヶ月位かかって成豚にし月に二十五頭位づつ出荷している。

しかし子豚の購入費、飼料代などなかなか高くつくるので来年からは繁殖も自分でやり、頭数も百五十頭位にしたい方針である。

一番神経を使うのは豚の病気で面倒も大変ですと語るのは豚の病気で面倒も大変さす意気込みと今後の明るい見通しが感じられた。

## 内案し

参加校は市内の全小中学校で課題曲は小学校が「ひかりのなかで」、中学校は「木のかの音」です。

主管の若松小中音楽研究部では出演校の父兄ばかりでなく、広く市内の音楽愛好者の来場を望んでおります。

■会津若松市小中学校音楽祭

第十八回目の県の音楽祭に出場する市の代表校を選び、地区の音楽を盛んにするために開かれるもので、今回は第一部合唱です。

音楽祭は七月十三日午後一時から三時まで市民会館で、市教委事務局の主催で開かれます。

## 国民健康保険被保険者証

検認を早く！



まだ検認を受けていない人が相当あります。  
この検認を受けないと医療費全額を払わねばならない場合もあり、  
また市ではその被保険者証を無効とする手続きをとるようになりますから、早く市の社会課に届けて下さい。





